

東京モーターショー出展



2019年10月24日～11月4日に東京ビッグサイトで開催されました東京モーターショーに「走りだそう 未来のクルマ 未来のENERGY」をテーマに出展いたしました。

当社は「電気」を「つくる」、「ためる」、「つかう」の3つの分野で培ってきたコア技術を生かし、電気に関する「こと」のソリューション企業を目指すことをビジョンに掲げ、関連した技術を出展いたしました。

プラズマ技術によりアンモニアから電気を「つくる」水素製造装置をはじめ、電気を「ためる」ためのバッテリーパック、ためた電気を効率良く走行エネルギーとして「つかう」インバータやモータ、ポータブル冷蔵庫の展示をいたしました。

当社はこれからもクリーンな社会実現に向けて貢献していく所存です。

株式の状況 (2019年9月30日現在)

①発行可能株式総数	16,000,000株
②発行済株式の総数	4,322,000株
	(自己株式 7,048株を含む)
③株主数	2,979名
④大株主	

株主名	持株数	持株比率
日野自動車株式会社	1,307 ^{千株}	30.29%
株式会社デンソー	400	9.27
本田技研工業株式会社	260	6.03
澤藤電機従業員持株会	125	2.91
株式会社三井住友銀行	120	2.78
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	85	1.99
株式会社三菱UFJ銀行	80	1.85
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	67	1.55
三井住友信託銀行株式会社	60	1.39
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	47	1.10

(注) 持株比率は自己株式(7,048株)を控除して計算しております。

会社概要 (2019年9月30日現在)

■ 英文社名
SAWAFUJI ELECTRIC CO., LTD.

■ 設立
1919年5月10日

■ 資本金
1,080,500千円

■ 事業内容
当社は下記製品の開発・製造・販売を行っています。

● 電装品
主としてディーゼルトラック・バス用電装品ですが、このほか汎用・船用電装品及び油圧機器用小型DCモータも扱っております。

● 発電機
可搬式発電機及び同製品用発電機です。

● 冷蔵庫
各種車両用及び船舶用電気冷蔵庫です。

■ 事業所
本社・新田工場
群馬県太田市新田早川町3番地

■ 役員

代表取締役社長	吉川 昭彦
代表取締役	内野 直明
取締役	田島 智仁
取締役	武藤 啓
取締役	芝山 啓
取締役	久野 陽二
取締役	小俣 英之*1
取締役	久米原 宏之*1
取締役	荒田 謙吉*1
常勤監査役	菊地 伸二
監査役	佐藤 真一*2
監査役	海老原 次郎*2

*1 社外取締役
*2 社外監査役

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬
基準日	
定時株主総会の議決権	3月31日
期末配当金	3月31日
公告方法	以下の当社ホームページにて電子公告により行います。 https://www.sawafuji.co.jp/ ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。
上場金融商品取引所	東京証券取引所

INFORMATION

株主優待制度

1. 株主優待制度について

毎年3月31日現在の株主名簿に記録された株主様で、かつ100株以上保有する株主様に対し、QUOカードを年1回、以下の基準により贈呈いたします。

2. 優待内容

100株以上1,000株未満保有の株主様	1,000円分
1,000株以上保有の株主様	3,000円分

3. 贈呈時期

毎年6月の定時株主総会後に発送いたします。

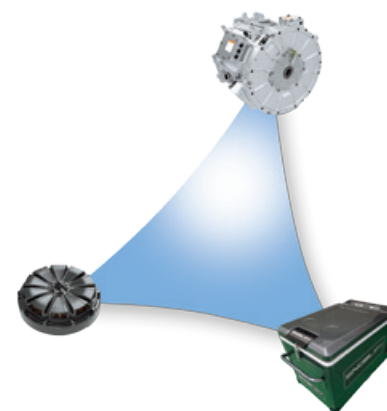
当社のホームページ

URL <https://www.sawafuji.co.jp/>

SAWAFUJI

第124期 中間株主通信

2019年4月1日～2019年9月30日



澤藤電機株式会社

証券コード：6901

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第124期連結会計年度における中間株主通信をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日から2019年9月30日までの6ヶ月間）につきましてご報告いたします。国内経済は、輸出や生産に弱さがみられるものの、企業収益や雇用環境に改善がみられるなど、緩やかな回復が続きました。一方海外経済では、米国では着実に回復が続き、欧州、アジア新興国では緩やかな回復基調が継続したものの、中国では持ち直しの動きに足踏みがみられ、また、各国の通商政策の動向による影響等により、景気を下振れるリスクは依然として残っております。このような経済環境の下、当社グループは各事業の売上拡大に努めましたが、売上高は前年同期と比べ3億76百万円減の152億34百万円となりました。

事業別の売上高は、電装品事業は、海外向けの販売が減少したことにより、76億29百万円（前年同期比1.8%減）となりました。発電機事業は、受託生産している発電機の販売の減少に加え、自社ブランド発電機「ELEMEX」が中東、ロシアなどで販売が低迷したことにより、45億67百万円（前年同期比1.4%減）となりました。冷蔵庫事業は、オーストラリア向けの販売が減少したことにより、29億21百万円（前年同期比0.8%減）となりました。

次に利益面では、電装品・発電機・冷蔵庫の各事業における販売減に加え、為替の影響等により営業利益1億35百万円（前年同期比3億11百万円減）、経常利益1億55百万円（前年同期比3億60百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益94百万円（前年同期比3億88百万円減）となりました。

直前4事業年度の第2四半期連結累計期間を含む売上高及び損益の状況は、図表2「連結決算ハイライト」をご高覧いただきたいと存じます。

経済の先行きについては、通商問題を巡る緊張、中国経済の先行き、英国のEU離脱の行方等の海外経済の動向や金融資本市場の変動の影響に加え、消費税引上げ後の消費マインドの動向に留意する必要があります。当面、輸出の弱さが残るものの、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されます。

このような環境の下、当社グループは、培ってきたコア技術を生かし、あらゆるエネルギーを電気に変換する技術、つくった電気を蓄える技術、電気を使ったより快適な生活環境を作り出す技術を飛躍させ、電気に関することのソリューション企業を目指してまいります。

経営の重要課題である株主様への当期の期末配当でございますが、当期末配当金は1株当たり28円とさせていただきます予定でございます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
吉川 昭彦

連結財務諸表(要旨)

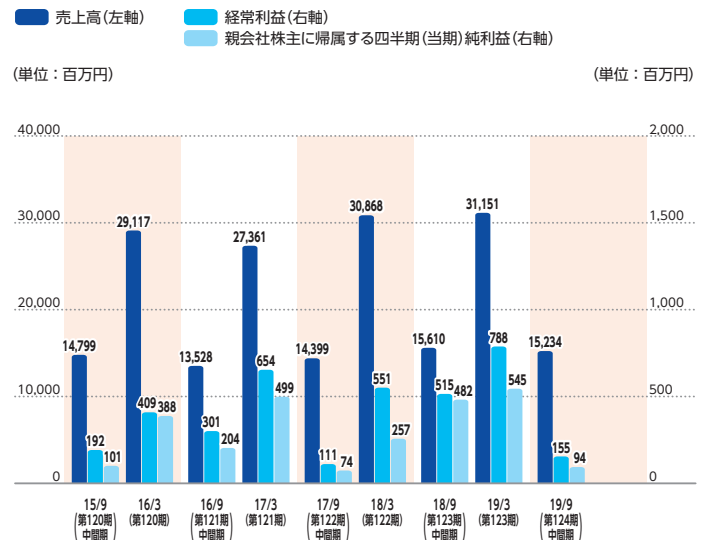
連結損益計算書（図表1）

（単位：百万円）

科 目	期 別	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月 1 日 至 2018年9月30日
売上高		15,234	15,610
売上原価		13,755	13,789
売上総利益		1,478	1,821
販売費及び一般管理費		1,342	1,374
営業利益		135	446
営業外収益		92	105
営業外費用		73	36
経常利益		155	515
特別利益		1	0
特別損失		0	0
税金等調整前四半期純利益		155	515
法人税等		41	16
四半期純利益		114	499
非支配株主に帰属する四半期純利益		19	16
親会社株主に帰属する四半期純利益		94	482

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結決算ハイライト（図表2）



連結貸借対照表（図表3）

（単位：百万円）

科 目	期 別	当第2四半期連結会計期間末 2019年9月30日	前連結会計年度末 2019年3月31日
(資産の部)			
流動資産		11,307	12,296
固定資産		7,200	7,311
有形固定資産		3,792	3,783
無形固定資産		138	85
投資その他の資産		3,269	3,443
資 産 合 計		18,508	19,608
(負債の部)			
流動負債		8,045	8,823
固定負債		1,935	2,127
負 債 合 計		9,980	10,950
(純資産の部)			
株主資本		6,633	6,659
資本金		1,080	1,080
資本剰余金		117	117
利益剰余金		5,444	5,470
自己株式		△9	△9
その他の包括利益累計額		1,748	1,875
その他有価証券評価差額金		1,866	2,006
為替換算調整勘定		66	79
退職給付に係る調整累計額		△183	△210
非支配株主持分		145	122
純 資 産 合 計		8,527	8,657
負 債 純 資 産 合 計		18,508	19,608

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書（図表4）

（単位：百万円）

科 目	期 別	当第2四半期連結累計期間 自 2019年4月 1 日 至 2019年9月30日	前第2四半期連結累計期間 自 2018年4月 1 日 至 2018年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー		△1,283	357
投資活動によるキャッシュ・フロー		△404	△374
財務活動によるキャッシュ・フロー		875	△159
現金及び現金同等物に係る換算差額		△5	△48
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）		△818	△225
現金及び現金同等物の期首残高		1,350	1,440
現金及び現金同等物の四半期末残高		532	1,215

（注）記載金額は百万円未満を切捨てて表示しております。